

どんなこいのぼりにしようかな？

R6,4,16

製作コーナーにて、年上の友達がこいのぼりをつくっていると、「つくりたい」と、一人の園児がつくりだしました。その姿を見て「僕も」「わたしも」と、こいのぼりづくりが始まりました。

1.探す



何色にしような？

どれにしよう…

様々な素材に触れる

空き箱や画用紙など、様々な素材から、使ってみたい物を選んでいきます。また、「プチプチが欲しい」と、欲しい素材を保育者に伝えていました。

2.つくる



箱に、紙貼る！

小さく切ろう



(上手く)巻けないなー



これ、しっぽ！

かいたり、つくったりするを楽しむ

「ピンクのこいのぼりにしたい」「これは、(こいのぼりの)しっぽ」「長い(こいのぼり)のにしたい」など、自分のイメージを言葉にして伝えながら、かいたり、選んできた素材を切ったり貼ったりしています。自分のイメージを形にしている子もいますが、イメージを形にすることが難しい子には、「こうするといいか？」と、様々なやり方を提案することで、「こうしてみよう」という、意欲へとつながっています。

3.見せる



紙でつくりました



箱に紙を貼りました

自分なりの言葉で表現する

振り返りで、どんな素材で作ったかを伝えています。伝えたい気持ちがあるものの、どう表現していいかわからない子には、伝え方を知らせることで、言葉での表現の仕方を学んでい



A子ちゃんと、違う紙や！

友達の発表を聞いたり、つくったこいのぼりを見たりして、同じ紙でも、材質の違いに気付いていました。